

# 近税立志会 創刊第1号

平成22年1月7日

## 近畿税理士会会員各位

厳冬の候、会員の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

近税立志会は、平成20年5月、近畿税理士会の会長辞任に伴う会長補欠選挙が行われた後に「菅原宏平君を会長に推す会」を発展的に解消し、新たに設立された組織です。

私たちの主張に賛同をいただいた会員の皆様の貴重な一票を大切に、税理士制度を真摯に考えるため継続的な活動を行ってまいります。



私たちは税理士として独立自尊の精神を重んじ、国民のための租税制度と税理士制度の発展を図らなければならないことを自覚します。そのためには租税法律主義を学問的に追求、実践し、社会公共的な職業使命達成のため、不断の努力を惜しみません。そして近畿税理士会の自主性・自律性ある会務運営を実現するために、人格識見に優れた会長はじめ役員を選出することを目的として、ここに近畿税理士会会員諸兄姉に向けて「近税立志会」設立発起を宣言します。

(設立趣意書より一部抜粋)

## 近税立志会 会長

# 菅原 宏平

現在、税理士会における主な懸案事項としては

- ◎規制改革会議で議論されている税理士業務の無償独占及び強制入会制度の見直しに対する対応
- ◎公認会計士側がその資格で税務業務ができるように要望していることに対する対応
- ◎弁護士及び公認会計士に対し無条件に税理士資格を付与している現行制度に対する対応などです。

日税連では、税理士法改正に関するPTを平成21年8月に立ち上げて、税理士法改正に向けてタタキ台を公表し動き始めています。

以上のような懸案事項について私たちは今後とも注視していきます。

**近税立志会はこのような中であって  
社会公共的な職業使命達成のためその努力を惜しみません**

- ・ 税理士として独立自尊の精神を重んじます
- ・ 国民のための租税制度と税理士制度の発展をめざします
- ・ 近畿税理士会の自主性・自律性ある会務運営をめざします



自主、自律がテーマです

# 近税 **立** **っ** **し** **志** **か** **い** **会**

発行所 〒543-0014  
大阪市天王寺区玉造元町14-17  
電話(06)6764-8338

発行人 菅原 宏平

# 次なる税理士法改正の実態は…??

## —税理士業務は、納税者の“代理人業務”か、“税務監查的業務”か—

税理士法は昭和26年創設以来、昭和31年、昭和36年、昭和39年(廃案)、昭和55年、平成13年と4度に亘って改正された。この「改正」の歴史は、国税当局の志向する制度と税理士業界の志向する制度の乖離とその相克の中で、税理士会の改正姿勢のブレが影響し、おおむね国税当局の望む方向で改正が進められてきたのが現状である。

その結果、創設時のシャープ勧告の制度理念は歪められ、納税者の代理人制度としての発展は極めて不十分なまま存置され、一方、代理人制度とは相容れない“税務監查的”な書面添付制度が様々な尤もらしい理由づけがなされ、その拡充が図られてきた。今後もこのような“税務監查もどき”の制度の拡充が改正の基本的方向であることは明らかであり、代理人制度の形骸化はさらに進むものと危惧されるところである。

### 登録更新制度の導入と研修制度、税務援助義務の強制化?

法定研修時間の達成や、税務援助義務の遵守を登録更新の要件とすることによって、研修義務、税務援助義務の強制化を図ろうとしている。

士業専門家は“プロフェッション”と言われ、自主・自律の精神は、職業人の魂である。研修の強制化は、専門家の自律の精神を育むことを諦念することを意味し、その専門技術の維持・向上の目論見とは異なって、制度の本質的な要請である専門家の自主・自律性を阻害し、制度の質を後退させる可能性が大である。税務援助の強制化も同様である。

また、税務支援とそのアウトソーシング問題については、税理士会の自律した事業として納税者支援策が確立されるべきであり、“行政事務のお手伝い”というような位置付けの現行方式からの段階的な脱却策が志向されるべきである。

### めざすべき税理士制度とは何か!

私たちが目指すべき、あるべき税理士制度とは、「使命」に納税者の権利擁護が明定され、「業務」において税理士の代理権が確立され、独占権に随伴する納税者支援を自律的に果たし、高い倫理水準を維持し、適正な税務行政のチェック機能を保持しなければならない。

士業専門職(プロフェッション)が、西欧の伝統に則り、本来のスタンスと機能に立ち返ること、創設趣旨であるシャープ勧告の民主的な側面を重視することこそ重要であり、士業法制の崩壊をすすめ、過度の市場原理を制度内に導入し、業界に混乱と倫理の低下を招く規制緩和施策の誤りが清算されなければならない。